

心豊かで活力ある市民生活の実現

文化活動の活性化と地域文化の保存・継承に努め、郷土に愛着と誇りを持つとともに、文化の力を活かして、活力ある社会と心豊かな生活の実現を目指します。

基本的な施策

- ◇ 芸術文化活動の推進
- ◇ 文化団体の支援と連携
- ◇ 国民文化祭の開催
- ◇ 文化ホールの活用と整備
- ◇ 津山洋学資料館の活用
- ◇ 津山郷土博物館の充実

(1) 芸術文化活動の推進

市民が自主的に創作活動を行う学習の場を拡充し、内外の優れた芸術・文化に触れる機会を積極的に設けます。

創作活動の支援と発表・鑑賞機会の提供として従来から行っている西東三鬼賞、津山川柳大会、文化教室、勝北ミュージカル、各文化センター自主事業など芸術文化事業のより一層の充実に向けて取り組みます。

(2) 文化団体の支援と連携

津山市文化連盟などの芸術文化団体の支援や団体相互の連携と交流を促進し、芸術文化活動の活性化を図ります。また、(財)津山文化振興財団の活性化に努め、優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供や情報のネットワーク化、文化ホール間の連携を促進します。

(3) 国民文化祭の開催

今年度の秋には、「第25回国民文化祭・おかやま2010」が、県内各地で開催され、津山市では①洋学シンポジウム②民謡・民舞の祭典③俳句会④写真展⑤茶道フェスティバル⑥中世山城の祭典が行われます。市実行委員会及び事業別企画委員会で、本市で開催する6事業の内容を詳細に決定するとともに、作品募集、当日の運営などの具体的準備を進めます。また、国民文化祭に多くの市民が参画し意義ある祭典にするため、広報活動や啓発事業に取り組むとともに、期間中を通して中心商店街を会場に開催される「総合文化プロジェクト」の企画・運営を行います。

(4) 文化ホールの活用と整備

津山文化センターなど5つの公立文化ホールの管理運営について、より市民ニーズに対応したサービスの提供や効果的な施設運営と稼働率の向上につながるよう、指定管理者への指導や連携を進めます。また、市民による施設の利用を促進し、文化芸術の拠点として充実を図るとともに、安心して利用できる施設の改修整備に努めます。

(5) 津山洋学資料館の活用

新津山洋学資料館は、特色ある地域文化・貴重な歴史的文化遺産を活かした、生涯学習の拠点、学校教育の郷土学習の場、また城東地区観光の中核施設として、今年3月に開館しました。関係各課と連携して市民、団体・機関の利活用を図るとともに、全国への発信・PRを行います。また今年度は、「国民文化祭（洋学シンポジウム）」の開催、「全国洋学史学会」の開催を予定しており、津山洋学の全国発信を図ります。

(6) 津山郷土博物館の充実

津山郷土博物館については、資料収集、調査、研究や民間資料の活用を積極的に進め、その成果を広く公開していくとともに、魅力ある特別展や講座の開催、美術展示コーナーの充実を図り、より多様な生涯学習機会の提供や幅広い学習活動の支援に努めます。